



「美の里」で
暮らす日々



地域おこし協力隊とは？

都市地域から町内に転入し、
概ね3年間の任期の中で **地域協力活動** を行います。

活動を通じて、地域活力の維持・強化を図り、
隊員が町内に **定住・定着** することを目標としています。



地域おこし協力隊制度のしくみ

「特別交付税」とは？

地方の財源不均衡を調整や特別な需要への調整を目的とする国が地方に代わって徴収する地方税であり、国から地方へ財政措置として配分される

ポイント!!

地方公共団体の**固有財源**であり、用途は**地方公共団体**が決定するため、協力隊制度は**自治体により様々**

国（総務省）

特別交付税

特別交付税として申請できる経費

- ➔ 最大550万円/隊員1人
- (内訳) 給与：上限350万円
- その他の経費：上限200万円

地方公共団体（会津美里町）

活動支援

地域おこし協力隊制度を構築・実施

地域おこし協力隊を雇用
活動費の予算化

ポイント!!

- × 地域おこし協力隊の予算 = 550万円
- 地域おこし協力隊の予算 = 町が予算化した金額

受入先

- ・本郷事業協同組合
- ・株式会社米夢の郷 等

地域おこし協力隊

ポイント!!

- × 活動に使えるお金 = 200万円
- 活動に使えるお金 =
200万円-保険料+通勤手当+家賃補助等)

地域協力活動を実施



なぜ、協力隊を導入するのか？

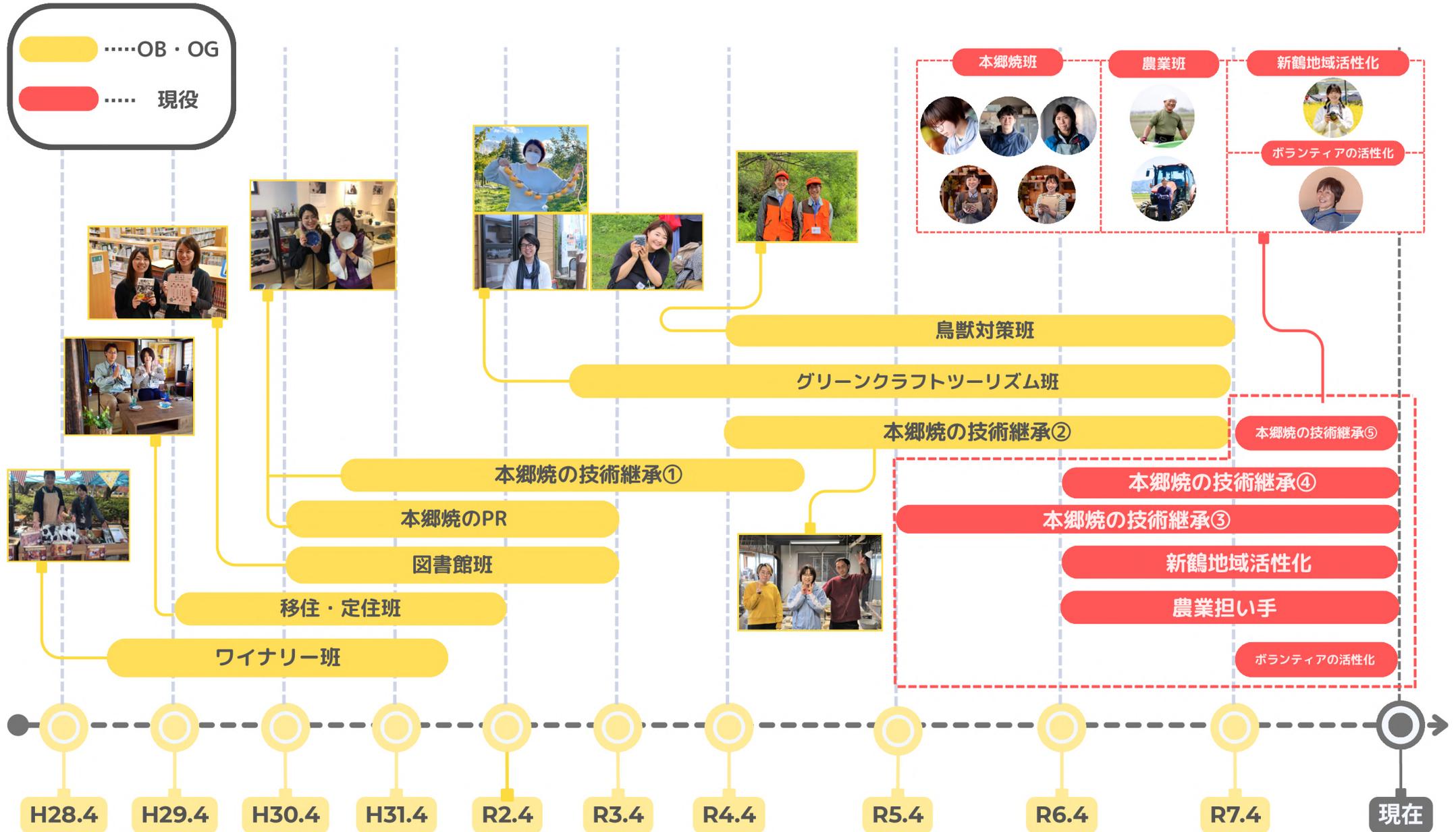
会津美里町が地域おこし協力隊を募集する目的は、

- ① 会津美里町総合計画に掲げる **地域課題の解決** と
- ② 町外人材の定住・定着による **人口の増加** です。

平成28年度に協力隊を初めて導入して以来、

地域の課題ごとに協力隊を募集し、地域課題の解決に向けて、20名以上の隊員が活躍してきました。

これまでの会津美里町地域おこし協力隊員の取り組み



会津美里町で活躍する地域おこし協力隊員の紹介

新鶴地域活性化



すがわらはづき
菅原 羽津紀

任期：R6年4月～R9年3月

会津美里町ならではの文化や日々の生活の中に潜在する資源を磨き上げ、町の魅力を多くの人に伝えるべく、情報発信やイベントの開催を行っています。

農業担い手班



ひさみちおさむ
久道 修

任期：R6年4月～R9年3月

担い手不足が懸念される町の農業を維持し、広大な農地を将来にわたり、適正に管理していく水稻栽培の担い手として町全体の農業を盛り上げていきます。



すどうなおや
須藤 真弥

任期：R7年4月～R10年3月

ボランティア活動の活性化



さいとうみちこ
齋藤 道子

任期：R7年4月～R10年3月

町内のささえあい活動を見える化し、さらに活発にボランティアが行われるよう、多角的に取り組み、ボランティア活動の活性化を目指します。

会津本郷焼班

歴史ある会津本郷焼の技術を引き継ぎながらも、自由な感性でものづくりに取り組み、会津本郷焼を盛り上げていきます。



たかはたわこ
高畑 和瑚

任期：R5年4月～R8年3月



おおともさとし
大友 悟

任期：R6年4月～R9年3月



ふじしまみづえ
藤島 瑞恵

任期：R6年5月～R9年4月



こうだみさと
香田 美里

任期：R7年4月～R10年3月



こばやしみはる
小林 美晴

任期：R7年4月～R10年3月

会津美里町 地域おこし協力隊が**目指すもの**

それは、
地域と協力隊が
共に幸せになること。

地域おこし協力隊にとっても**生き甲斐**を探すきっかけとなる一方で、隊員の地域貢献活動を通して、**地域**にとってもメリットがあるような関係性を目指しています。



会津美里町地域おこし協力隊が**目指すもの**



三方良しの関係



地域おこし協力隊

- 自身の才能・能力を活かした活動
- 理想とする暮らしや生き甲斐発見



地域

- 新たな視点、熱意による地域への貢献
- 新規事業（法人、飲食店等）の可能性



行政（町役場）

- 行政ではできなかった柔軟な地域おこし
- 住民が増えることによる地域の活性化

地域おこし協力隊希望者の皆様へ



隊員への支援について

協力隊の方々が会津美里町での暮らしを楽しんでもらえるように町としても、様々な支援を実施しています。

助成制度のほか、地域の協力団体と連携し、活動がしやすい環境を整えています。

OB・OGによるサポート体制も充実させ、地域住民の方々や現役隊員間の交流も行っています。

地域おこし協力隊希望者の皆様へ

会津美里町の地域おこし協力隊への主な支援制度

1 住宅費用助成金

- ・住宅賃借料月額4万5千円を上限に助成
- ・引越し経費 単身世帯10万円、同居家族のいる世帯15万円を上限に助成
- ・敷金・礼金等 9万円を上限に助成

2 自己研さん費助成

- ・年間10万円を上限に助成

3 情報発信経費助成

- ・情報発信に必要な画像・動画編集、デザインに関するオンラインサービスの契約に要した経費を年間10万円を上限に助成

4 起業支援補助金

- ・起業に要する費用を1人あたり最大150万円を補助

5 地域おこし協力隊OB・OGによるサポート体制

- ・一般社団法人TORCH（会津美里町地域おこし協力隊元OB・OG）にサポート業務を委託し、月例ミーティングの実施や相談デスクを設置

月例ミーティングでは、隊員のスキルアップを目的とした研修のほか、隊員・OB/OG間で情報共有や日々の悩みや活動に関する相談などをする貴重な機会になっています。



地域おこし協力隊希望者の皆様へ

会津美里町協力隊の体制について

活動支援



受入団体

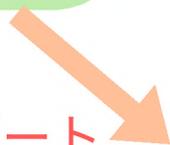
- ・ 隊員の受入
- ・ 日々の活動支援
- ・ 関係団体との調整

(受入団体)

- ・ 会津本郷焼事業協同組合
- ・ 株式会社米夢の郷



サポート



役場

【担当者】

各協力隊受入課に担当職員を1名以上配置し、皆さんの活動をサポートします。

- ・ 給与支払、保険加入等
- ・ 支援制度の構築
- ・ 活動サポート
- ・ 定住支援、進路相談
- ・ 研修の実施

日々サポ



OB・OG

- ・ 月1ミーティングの設定
- ・ 相談デスク
- ・ 定住支援
- ・ 地域とのつながり創出

(委託先)

- ・ 一般社団法人TORCH



サポート



地域おこし協力隊



地域おこし協力隊希望者の皆様へ

会津美里町を
新たな**挑戦**の場として
選んでほしい

- 「農業をやりたい！」
- 「陶芸家になりたい！」
- 「地域を盛り上げていきたい！」
- 「地方での暮らしを楽しみたい！」

そんな思いを持った方々が会津美里町に移住し、
地域おこし協力隊として自分の目標に向かって
活動しています。



地域おこし協力隊希望者の皆様へ

会津美里町協力隊の任期中～任期後のイメージ

新たな価値・理想の暮らし



- じゃらんかけアクセサリショップの開業
- ぶどう農家としてワイン作り
- 空き家を工房とし、窯元として独立



地域課題

<ビジネスチャンス>

図書館の立ち上げ
ワイナリーの立ち上げ
空き家、人口減少問題
鳥獣被害
会津本郷焼の後継者問題
農業の担い手不足
滞在型観光の推進

地域おこし協力隊

<やりがい・いきがい>

司書の資格を活かしたい
ぶどう農家として就農したい
空き家を活用した事業をやりたい
狩猟に興味がある
焼物づくりに興味がある
身しらず柿を作りたい
デザインのスキルを活かしたい

マッチング

&

3年間の協力隊活動

地域おこし協力隊希望者の皆様へ

会津美里町での暮らしを 心から楽しんでほしい

地域おこし協力隊の方々にとって、
見ず知らずの土地で生活をしていくというのは
はじめは大変なことだと思います。

ですが、会津美里町での暮らしを
最大限楽しんでもらえるように
町としても、全力でバックアップいたします。

また定住を目指す協力隊にとって、
同じ志を持った現役隊員やOB・OGも心強い仲間です。

現役隊員、OB・OG、役場職員一同
会津美里町地域おこし協力隊として仲間になってくれる方を

心よりお待ちしております！





暮らすからこそ
見えること



＼活動の様子や募集情報はこちらを検索／

会津美里町 地域おこし



会津美里町
地域おこし
協力隊

会津美里町公式ホームページ

https://www.town.aizumisato.fukushima.jp/gyosei/kurashi_tetsuzuki/5/6/index.html